

薄暮時、夜間事故の防止

～ 点灯せ！ 生死を分ける ハイビーム ～

平成30年「秋の全国交通安全運動」の実施
平成30年9月21日(金)～平成30年9月30日(日)までの10日間

JR北海道、「秋の踏切事故防止キャンペーン」を実施
2018年9月21日(金)から9月30日(日)までの10日間

横断歩道事故 後絶たず 歩行中死傷者数の30%占める

道交法は、横断歩道を横断中か渡ろうとする人がいる場合、
車両は手前で一時停止すると定める
信号の有無にかかわらず、渡っている人が右左折車などにはねられてしまうことが多い

2018年9月27日

横断歩道で歩行者が事故に巻き込まれるケースが後を絶たない。2013年以降、歩行者の死傷者は減りつつあるが、横断歩道での歩行者の事故の割合は毎年30%近くを占める。警察は、マナー向上に向けて取り締まりを強化している。道交法は、横断歩道を横断中か渡ろうとする人がいる場合、車両は手前で一時停止すると定める。だが、ドライバーに徹底されておらず、信号の有無にかかわらず、渡っている人が右左折車などにはねられてしまうことが少なくない。

信号のない交差点 「一時停止」を怠った

軽トラックとワゴン車が出合い頭に衝突 74歳女性死亡

◇見落とすな！ 『一時停止の標識』 確実な『一時停止』と左右の安全確認◇

2018/9/27(木) 7:14

26日午前6時ごろ、愛知県の信号のない交差点で軽トラックとワゴン車が交差点で出合い頭に衝突し、軽トラックを運転していた女性(74)が死亡しました。ワゴン車を運転していた会社員の男性(34)にけがはありませんでした。警察は、事故当時、軽トラックが一時停止を怠った可能性もあるとみて調べています。

苫小牧の交差点 サイレンを鳴らした救急車と車衝突

◇ラジオのボリュームは大きくありませんか？ 緊急走行車両のサイレンが聞こえなかったのでは？◇

◇運転中の、携帯・スマホは厳禁です 緊急車両に気がつかず…事故の可能性◇

2018年09月26日 12時14分

26日午前10時ごろ、苫小牧市中心部の交差点で、救急車がサイレンを鳴らしながら赤信号を直進したところ、交差点に進入してきた軽乗用車と衝突し、さらにそのはずみで信号待ちをしていた別の車と衝突しました。警察や消防によりますと、救急車は当時、急病の患者を搬送している最中でしたが、患者に目立ったけがはなく、そのまま別の救急車で市内の病院に搬送されました。

一方、この事故で、数人がけがをしている可能性があり、病院に搬送されたということです。現場は国道と市道が交わる見通しのよい交差点で、警察は事故の状況を詳しく調べています。

午後3時 集団下校の列に車突っ込む 小学生2人けが

◇わき見は厳禁、100%運転に集中しましょう◇

2018/9/26(水) 18:03

26日午後3時すぎ、埼玉県の横断歩道で、集団下校をしていた10人ほどの小学生の列に車が突っ込んだ。この事故で、小学生2人がけがをしたが、命に別条はないという。一緒に下校していた小学生は、「信号が青になって、横断歩道を渡ろうとしたら、車が突っ込んで来た」と話しているということで、警察は、車を運転していた40代の女性から事情を聴き、自動車運転過失致傷などの疑いも含め、調べを進めている。